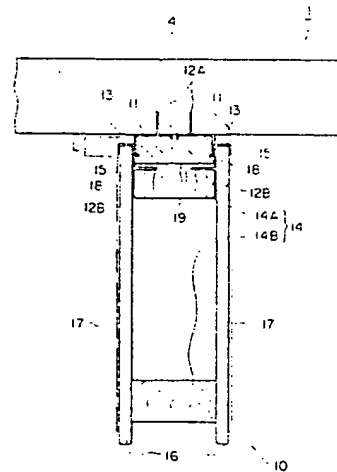


(54) BUTT STRUCTURE FOR WALL PANEL AND PARTITION PANEL

(11) 4-49352 (A) (43) 18.2.1992 (19) JP
(21) Appl. No. 2-160258 (22) 19.6.1990
(71) MISAWA HOMES CO LTD (72) YOSHIHIRO SANADA
(51) Int. Cl. E04B2/82

PURPOSE: To absorb fitting error and deformation with time by a method in which an edging part receiver provided to the side of wall panel is held slidably by edging parts attached to the sides of a partition panel.

CONSTITUTION: A pair of L-shaped long edging part receivers 11 are attached by nails to the side of a wall panel 4 and the second extended part 13 is projected outwards. A pair of J-shaped long edging parts 15 are attached to both sides of the vertical case 14 of a partition panel 10 to form the first extended part 18. A facing part 16 is attached to both sides of a frame 14, its end is fitted into the opening of edging part 5, and an elastic part 19 is provided between the receivers 11. The part 13 is slidably set between the parts 18, the panel 10 is attached by compressing the part 19, and the upper and lower edges are fixed to ceiling and floor. The panels can thus be easily attached by absorbing error without apertures even when warping occurs.



⑫ 公開特許公報(A) 平4-49352

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)2月18日

E 04 B 2/82

5 2 1 A

6951-2E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 壁パネルと間仕切りパネルの突き当て構造

⑯ 特 願 平2-160258

⑰ 出 願 平2(1990)6月19日

⑱ 発 明 者 真 田 義 広 東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号 ミサワホーム株式会社内

⑲ 出 願 人 ミサワホーム株式会社 東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号

⑳ 代 理 人 弁理士 木下 実三 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

壁パネルと間仕切りパネルの突き当て構造

2. 特許請求の範囲

(1) 壁パネルの側面に間仕切りパネルが直角に突き当てられる構造であって、前記間仕切りパネルの壁パネル側端縁に取付けられた見切縁材に前記間仕切りパネルの長手方向に延びる第1の延出部が設けられるとともに、前記壁パネルの側面に取付けられて前記見切縁材を受ける見切縁受材に第1の延出部と同じ方向に延びる第2の延出部が設けられ、これら第1および第2の延出部が互いに重ね合わされていることを特徴とする壁パネルと間仕切りパネルの突き当て構造。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、壁パネルと間仕切りパネルの突き当て構造に係り、住宅の内部空間を仕切る間仕切り

パネルの取付けに利用できる。

〔背景技術〕

従来より、住宅の内部空間を仕切って複数の部屋を形成するために間仕切りパネルが利用されている。このような間仕切りパネルには、壁パネルに直角に突き当てられるものがあり、第2図および第3図には、その一例が示されている。

図において、住宅ユニット1は、ユニット工法で建てられる住宅を構成する複数の住宅ユニットのうちのひとつである。この住宅ユニット1の骨組みは、四隅の柱とこれらの柱の下端を相互に連結する梁とで構成されている。

住宅ユニット1の側面部分には、軽量気泡コンクリート製の壁パネル4と柱2に沿わせて取付けられている。梁3の上には床材5が敷置され、床材5の上には住宅ユニット1を二つに仕切る間仕切りパネル6が敷置されている。

間仕切りパネル6は、縦型材と横型材とで組まれたフレーム状の骨組みを有している。

ーム23の側面に下地面材24が張り付けられる。

また、住宅ユニット1に間仕切りパネル20を取付けるにあたっては、間仕切りパネル20の片面が開放された状態で、間仕切りパネル20を床材5の所定位置に配置し、間仕切りパネル20の上下端縁をそれぞれ床材5および図示しない天井材に釘等で固定し、その壁パネル4側の端縁を壁パネル4の室内側の側面に直角に突き当てていた。この後に、壁パネル4側の端縁部分の縦框材21を壁パネル4の側面に釘25で固定し、開放されていた間仕切りパネル20の側面に別の下地面材24を張り付けて蓋ぎ、さらに、建築現場等で間仕切りパネル20の両方の下地面材24の上に仕上げ材26を貼り付けて仕上げていた。

〔発明が解決しようとする課題〕

このような間仕切りパネル20では、床材5および図示しない天井材に対する間仕切りパネル20の取付位置に誤差があると、壁パネル4の側面と間仕切りパネル20の端縁との間に隙間が生じるので、

縁材を受ける見切縁受材に第1の延出部と同じ方向に延びる第2の延出部が設けられ、これら第1および第2の延出部が互いに重ね合わされていることを特徴としている。

〔作用〕

このような本発明では、間仕切りパネル側の第1の延出部と壁パネル側の第2の延出部とを重ね合わせることができる範囲で、間仕切りパネルの長手方向に沿って取付位置の誤差が許容されるようになり、間仕切りパネルの取付けにあたって高い取付位置精度が不要になる。

また、第1の延出部と第2の延出部とが重ね合わされているので、壁パネルや間仕切りパネルに反りや歪みが生じても、例えば、第1の延出部と第2の延出部とを互いに摺動可能とするなどによって、壁パネルと間仕切りパネルの端縁との間に隙間が生じなくなる。

実施例

間仕切りパネル20の取付けにあたって高い取付位置精度が要求されている。このため、間仕切りパネル20の取付けに手間がかかって、取付作業が面倒になるという問題があった。

また、間仕切りパネル20は、壁パネル4の側面に単純に突き当てた状態で取付けられているため、温度、湿度等の影響により壁パネル4や間仕切りパネル20に生じる僅か数mmの反りや歪みによって、これらの接合部分に隙間が生じるという問題もある。

本発明の目的は、間仕切りパネルの取付け位置誤差を許容することができ、従って、間仕切りパネルの取付作業を容易にできる壁パネルと間仕切りパネルの突き当て構造を提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明は、間仕切りパネルの壁パネル側端縁に取付けられた見切縁材に前記間仕切りパネルの長手方向に延びる第1の延出部が設けられるとともに、前記壁パネルの側面に取付けられて前記見切

以下、本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。なお、以下の説明では既に説明した部材と同じ部材には同一符号を使用し、その説明を簡略または省略する。

第1図には、本実施例の平断面図が示され、図において住宅ユニット1の壁パネル4に間仕切りパネル10が直角に突き当てられ、壁パネル4の側面には一対の見切縁受材11が釘12Aで固定されている。

見切縁受材11は断面略J字形の長尺部材であり、間仕切りパネル10の高さ寸法に対応する長さを有している。各見切縁受材11の長い方の一边は互いに先端が対向し、短い方の一边は間仕切りパネル10の長手方向に延びて第2の延出部13となっている。

間仕切りパネル10は、端縁側の縦框材14Aや内部の縦框材14B等からなるフレーム14を有している。縦框材14Aの両側には、断面略J字形の見切縁材15が縦框材14Bより壁パネル4側に突き出された状態で釘12Bによって固定されている。この

見切縁材15の開口に石膏ボード等の面材16の端縁が嵌め込まれることにより、フレーム14の両側に面材16が取付けられている。面材16の表面にはビニールクロス等の仕上げ材17が建築現場等で貼り付けられる。

見切縁材15は、間仕切りパネル10の高さ寸法に対応した長さ寸法を有するものであり、見切縁受材11と同一色かつ同一材料からなる例えばプラスチック製となっている。また、見切縁材15の縦框材14Aに接する一辺は、間仕切りパネル10の長手方向に延ばされて第1の延出部18となっている。

これらの第1の延出部18の間に一对の第2の延出部13が嵌合された状態で、間仕切りパネル10の見切縁材15が壁パネル4の見切縁受材11で受けられるとともに、間仕切りパネル10の上下端縁がそれぞれ図示しない天井材および床材に固定されている。

間仕切りパネル10の縦框材14Aと壁パネル4の見切縁受材11のとの間には、合成ゴム製等による弾性部材19が介装されている。この弾性部材19は

一对の見切縁受材11が釘12Aで壁パネル4に取付けられた後に、これらの見切縁受材11の間に挿入保持される。また、弾性部材19は間仕切りパネル10の縦框材14Aにより間仕切りパネル10の長手方向に圧縮されており、圧縮された弾性部材19は、第2の延出部13を第1の延出部18側に付勢している。この弾性部材19の付勢によって第1の延出部18と第2の延出部13とが互いに密着して重ね合わされている。

また、重ね合わされた第1の延出部18と第2の延出部13とは、互いに摺動可能にされ、これら第1の延出部18および第2の延出部13の摺動が可能な範囲、すなわち、図中の間仕切りパネル10の長手方向に沿った寸法Lの範囲で間仕切りパネル10の取付け位置の誤差が許容可能になっている。

このような本実施例では、次のような手順で間仕切りパネル10の取付けが行われる。

まず、一連の縦框材14から仕上げ材17により間仕切りパネル10を完成させておく。また、壁パネル4の側面に見切縁受材11を一对取付けておき、

さらに、これらの見切縁受材11に弾性部材19を挿入保持させておく。

続いて、間仕切りパネル10の端縁を弾性部材19側に押し込んで弾性部材19を圧縮し、第1の延出部18と第2の延出部13とを互いに密着させながら重ね合わせる。この状態で、間仕切りパネル10の上下端縁をそれぞれ天井材および床材に固定して間仕切りパネル10を取付け、間仕切りパネル10の壁パネル4とは反対側の端縁を別の住宅ユニット1の間仕切りパネル等に接続した後に、仕上げ材17を貼り付けて間仕切りパネル10に係る作業を完了する。

前述のような本実施例によれば、次のような効果がある。

すなわち、間仕切りパネル10側に第1の延出部18を有する見切縁材15を設け、壁パネル4側に第2の延出部13を有する見切縁受材11を設け、これら第1の延出部18と第2の延出部13とを摺動可能にして重ね合わせた状態で、間仕切りパネル10を取付けるようにしたので、取付けはあたって前記

寸法Lの範囲に渡って取付け位置誤差が許容され、高い取付け位置精度が不要になり、従って、間仕切りパネル10の取付けを容易にすることができる。

また、見切縁材15と見切縁受材11とを同一色かつ同一材料からなるものとしたので、見切縁材15と壁パネル4との間に見切縁受材11の側面が露出しても、これが目立つことがない。

さらに、間仕切りパネル10側の第1の延出部18の間に壁パネル4側の第2の延出部13を嵌合させ、これにより間仕切りパネル10の壁パネル4側の端縁を壁パネル4に固定するようにしたので、別途釘等による縦框材14Aの壁パネル4への固定が省略できる。これによっても間仕切りパネル10の取付け作業を簡略化することができ、間仕切りパネル10の取付けをこの点でも容易にできる。

また、弾性部材19の圧縮により第1の延出部18と第2の延出部13とを互いに密着させて重ね合わせるようにしたので、間仕切りパネル10は高い遮音効果を有するものとなる。

さらに、第1の延出部18と第2の延出部13とを

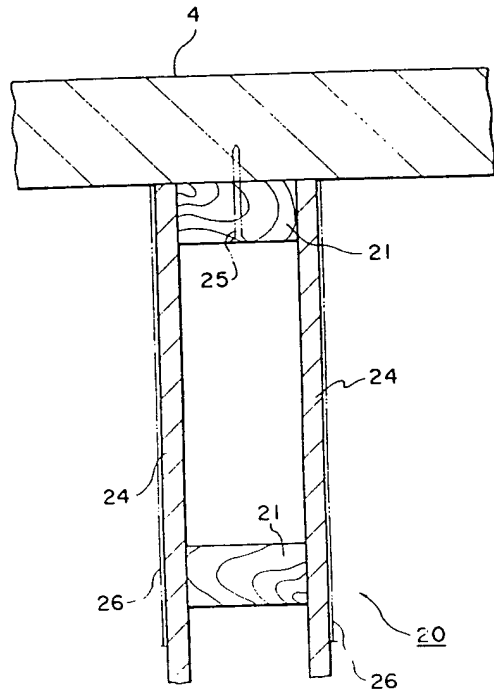
—

また、間仕切りパネルはフレームの両側に面材16が張り付けられるものに限らず、合板一枚から

4…壁パネル、10…間仕切りパネル、11…見切縁受材、13…第2の延出部、15…見切縁材、18…

4…壁パネル
10…間仕切りパネル
11…見切板受材
13…第2の通出部
15…見切材
18…第1の通出部

第 3 図



第 2 図

